

第4回いわき市下水道事業等経営審議会資料

- ・ 令和6年度決算状況について
- ・ 地域汚水処理事業等の現状・あり方について（継続）

令和7年8月

いわき市 生活環境部 生活排水対策室 経営企画課



目次

●令和6年度決算状況について

- ・令和6年度 下水道事業会計 決算 1 P
- ・令和6年度 地域汚水処理事業会計 決算 2 P
- ・令和6年度 農業集落排水事業会計 決算 3 P

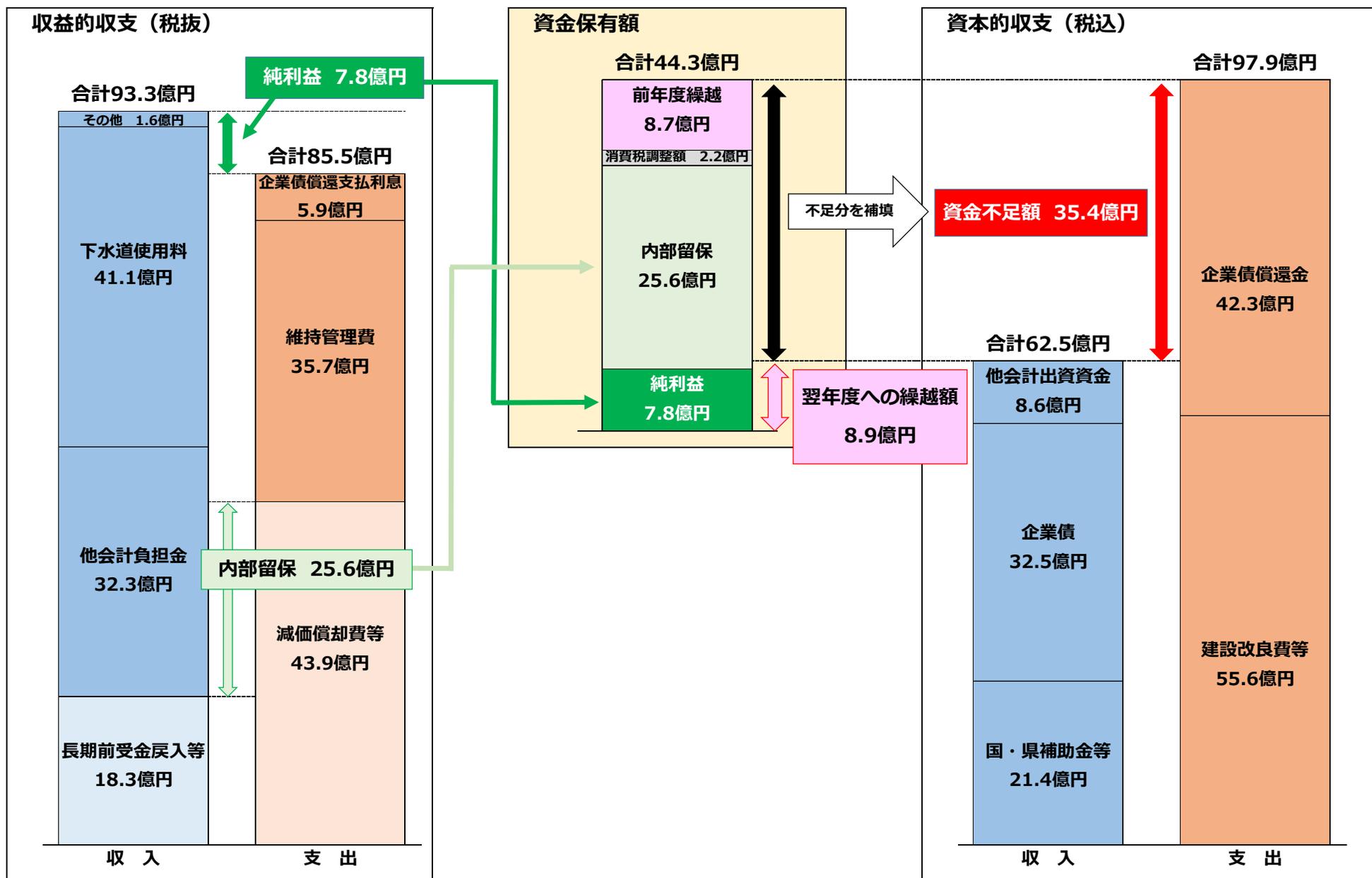
●地域汚水処理事業等の現状・あり方について

- ・第3回審議会時の委員意見に対するシミュレーションの実施について 4 P
- ・地域汚水処理事業に係るシミュレーション 5 P～10 P
- ・地域汚水処理事業のあり方について 11 P
- ・農業集落排水事業に係るシミュレーション 12 P～13 P
- ・農業集落排水事業のあり方について 14 P

令和6年度 決算状況について

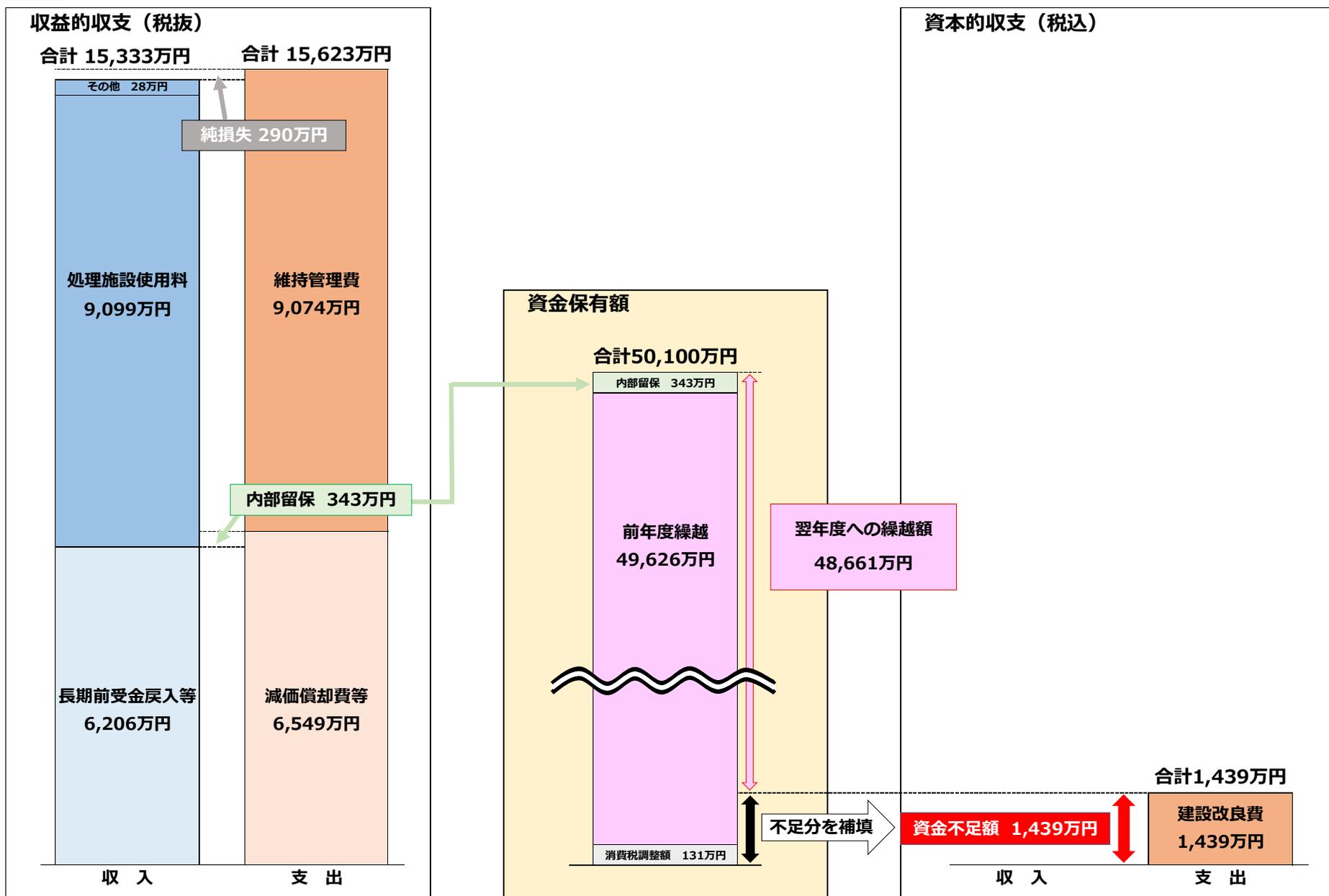
1

令和6年度 下水道事業会計 決算



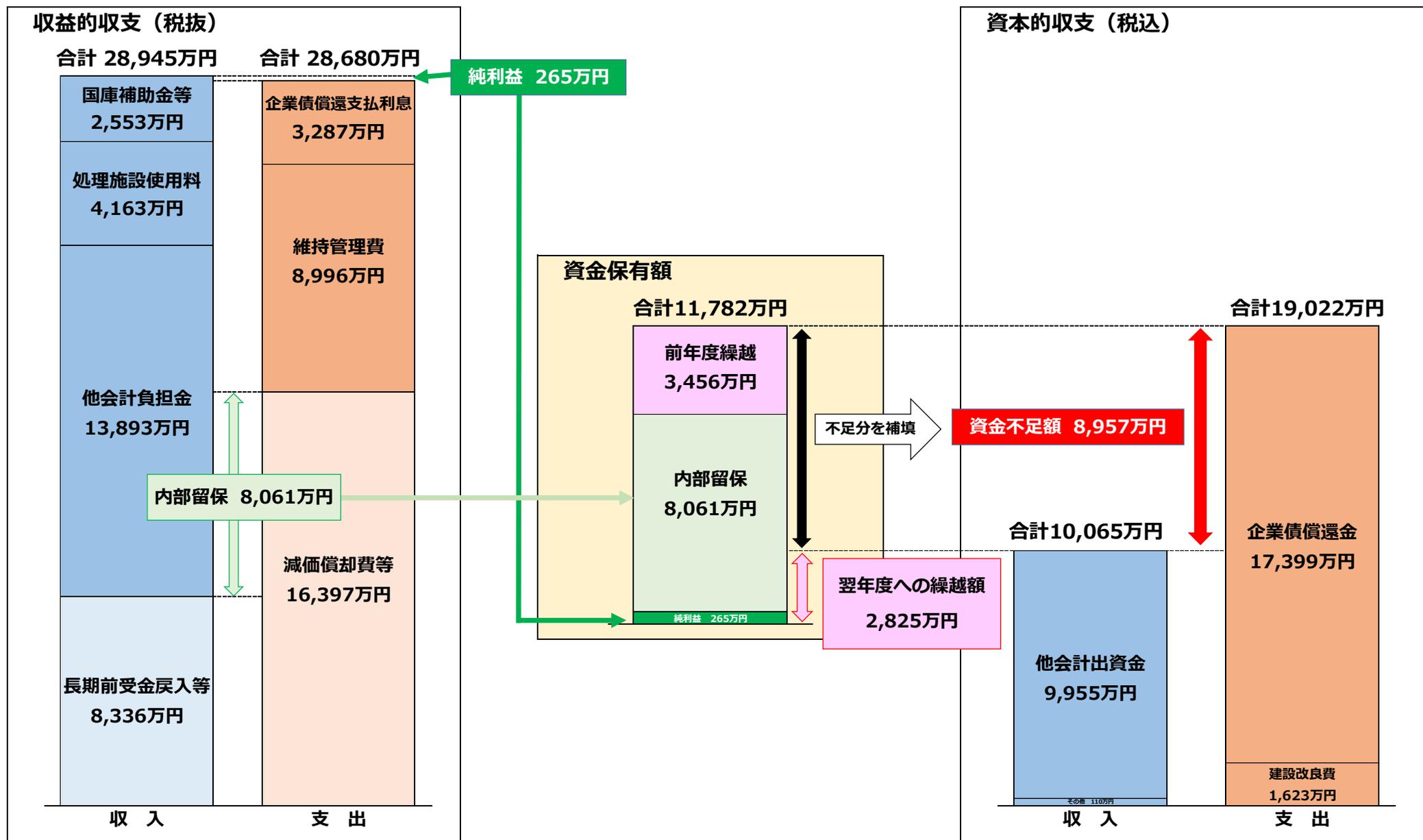
2

令和6年度 地域汚水処理事業会計 決算



3

令和6年度 農業集落排水事業会計 決算



地域汚水処理事業等の現状・あり方について

4 第3回審議会時の委員意見に対するシミュレーションの実施について

●第3回審議会時の委員意見、シミュレーションの内容

 委員意見を数値等で見える化するためにシミュレーションを実施

No.	項目	内容
1	委員意見	地域污水処理事業は、定額の料金体系となっており、使用料が他の事業に比べかなり安い ため、料金設定を見直すという考え方はないのか。
	シミュレーション	地域污水処理事業の定額の料金体系を従量制にした場合どうなるのか？
2	委員意見	地域污水処理事業は、市街地に比較的近いため、大規模修繕に合わせて公共下水道に 繋げるという考え方はないのか。
	シミュレーション	地域污水処理事業を公共下水道に繋げた場合どうなるのか？
3	委員意見	農業集落排水事業は、新しい施設で、接続率向上を積極的に呼びかけているとのことである が、戸数や世帯人員が減少傾向にあるため、厳しい状況は変わらないと思う。
	シミュレーション	農業集落排水事業は、接続率が100%となれば使用料で維持管理費が賄えるか？

5 地域汚水処理事業に係るシミュレーション

●シミュレーション①

①地域汚水処理事業の定額の料金体系を従量制にした場合どうなるのか？



下水道使用料の料金体系を適用してシミュレーションを実施

地域汚水処理施設使用料単価

月額2,970円（税込み）／戸

下水道使用料単価

（1か月分、消費税込み）

使用料区分		1m ³ あたり
基本使用料(10m ³ まで)		2,065.8円
超過使用料 (1m ³ につき)	11m ³ から20m ³ まで	224.4円
	21m ³ から30m ³ まで	249.7円
	31m ³ から50m ³ まで	261.8円
	51m ³ から100m ³ まで	343.2円
	101m ³ から200m ³ まで	369.6円
	201m ³ から500m ³ まで	396.0円
501m ³ 以上		420.2円

【参考】

下水道使用料の使用水量別使用料・
地域汚水処理施設使用料との差額

（1か月分、消費税込み）		
使用水量	使用料	差額
10m ³	2,065円	△905円
20m ³	4,309円	1,339円
30m ³	6,806円	3,836円
40m ³	9,424円	6,454円
50m ³	12,042円	9,072円

※ 使用料は、水道料金と併せて、
原則2か月分をまとめて請求して
います。

6

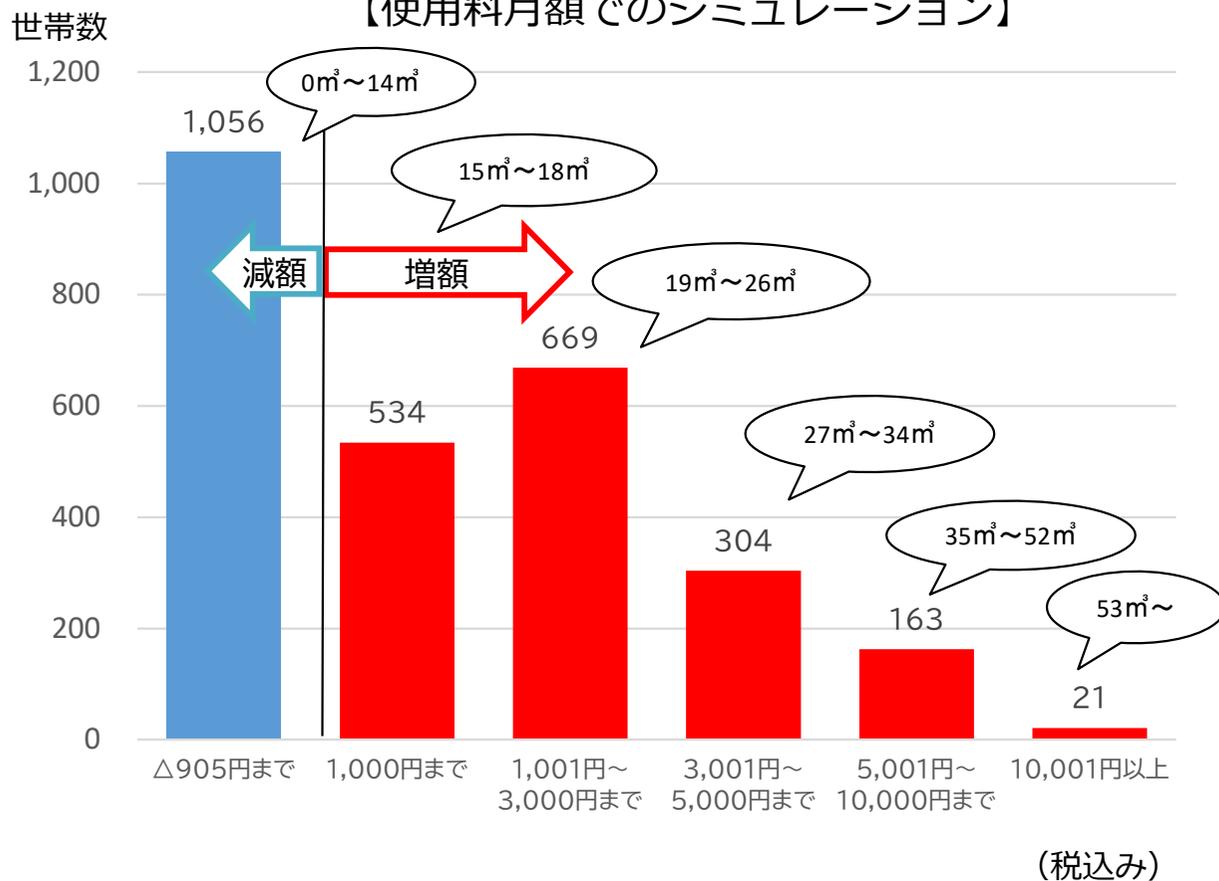
地域汚水処理事業に係るシミュレーション

●シミュレーション①



下水道使用料の料金体系を適用した場合、使用者の使用料はどうなるのか？

【使用料月額でのシミュレーション】



結果

61.6%の世帯で増額となる。

- ・全世帯数 2,747世帯 (R7.7月時点)
- ・減額となる世帯数 1,056世帯 (38.4%)
- ・増額となる世帯数 1,691世帯 (61.6%)

毎月の増加金額	世帯数	割合
1,000円まで	534世帯	19.4%
1,001円~3,000円まで	669世帯	24.4%
3,001円~5,000円まで	304世帯	11.1%
5,001円~10,000円まで	163世帯	5.9%
10,001円以上	21世帯	0.8%

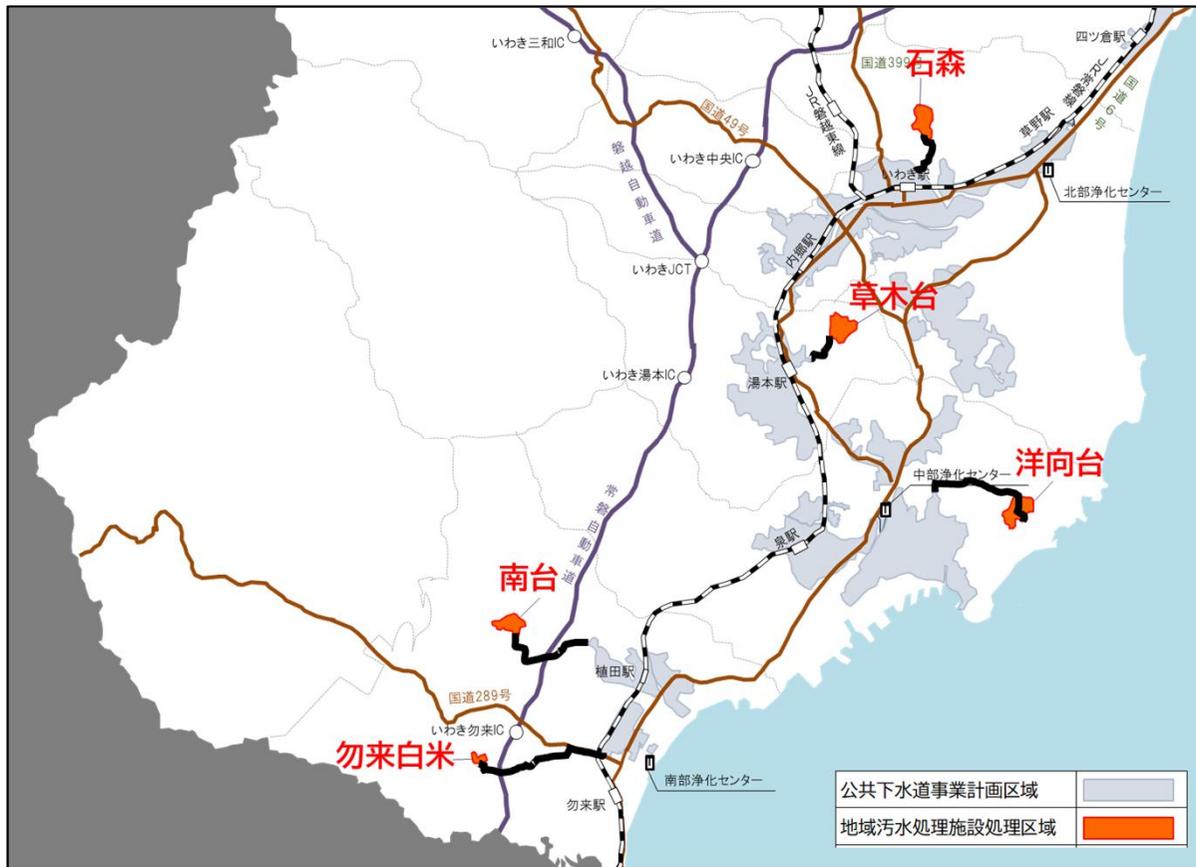
7 地域汚水処理事業に係るシミュレーション

●シミュレーション②

②地域汚水処理事業を公共下水道に繋がった場合どうなるのか？



接続元の地域汚水処理事業の選定



施設名	公共下水道までの距離
草木台	約1.2km
石森	約1.7km
南台	約3.1km
洋向台	約4.0km
勿来白米	約5.1km



公共下水道までの距離を勘案し、**草木台地域汚水処理施設**について机上での検討を実施!!

●シミュレーション②



検討にあたっての留意事項

1

公共下水道への接続ルートや工事工法、概算費用等は机上調査。

2

実際の検討にあたっては、基本計画業務委託等による詳細な検討が必要。

3

公共下水道事業区域として許認可の可否や接続工事実施にあたり、河川管理者、道路管理者、地権者等との協議・合意が必要。

ですから、

これからご覧になる数値や図面等については、

参考と捉えてください。



9

地域汚水処理事業に係るシミュレーション

●シミュレーション②



公共下水道への接続ルートなど

接続元

草木台地域汚水処理施設

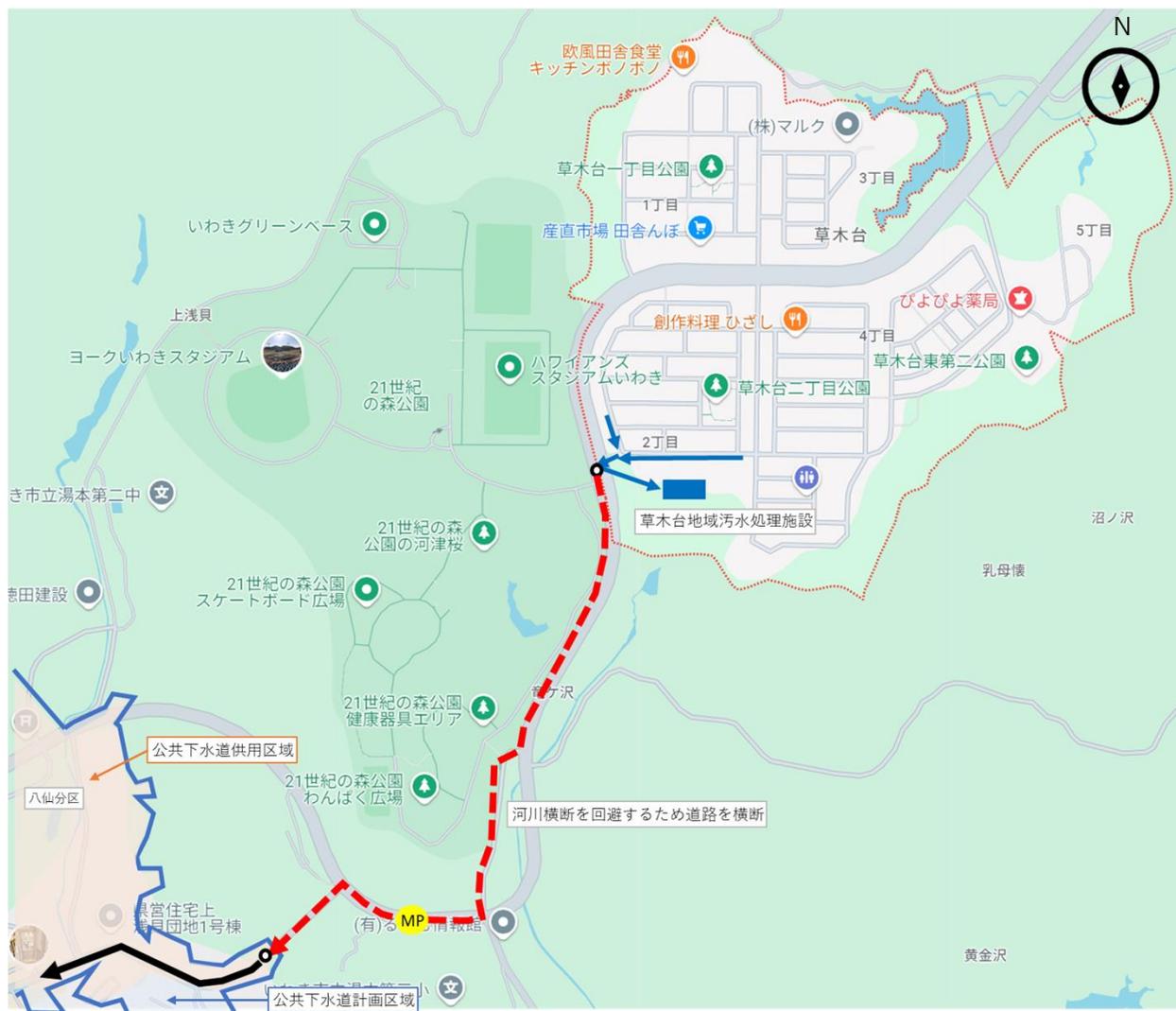
接続先

公共下水道（八仙分区）

接続方法

- ・水野谷川を横断せずに管渠を布設
- ・必要に応じてマンホールポンプを設置

このルートでやってみます。



10

地域汚水処理事業に係るシミュレーション

●シミュレーション②



シミュレーション結果

(消費税込み)

項目	地域汚水処理継続	公共下水道へ接続	効果額
建設費等※	－ 千円	462,000千円	△462,000千円

※ 管渠の建設費のほか、既設処理場撤去費及び公共下水道への接続工事実施時に見込まれる交付金収入が含まれる。

維持管理費 (費用)【年あたり】	24,000千円	1,000千円	23,000千円
処理場改修費 (費用)【年あたり】	18,000千円	0千円	18,000千円
管渠等改修費 (費用)【年あたり】	55,000千円	62,000千円	△7,000千円
施設使用料 (収益)【年あたり】	22,000千円	32,000千円	10,000千円
経費削減等効果 【年あたり】			44,000千円

投資効果分岐点

10.5年

結果

草木台地域汚水処理事業を公共下水道に繋げた場合、**10.5年で投資効果が表れる。**

●今後の事業の方向性について



シミュレーション結果まとめ

- ・下水道使用料の料金体系を適用した場合、約6割の世帯で使用料が増額となる。
- ・草木台地域汚水処理事業を机上の方法で下水道へ接続した場合、10.5年で投資効果が表れる。

方向性

- ・今後は、地域汚水処理事業の継続を前提としながらも、机上による調査を進める。
- ・事業のあり方についてさまざまな角度から検討を進める。

12

農業集落排水事業に係るシミュレーション

●シミュレーション③

③農業集落排水事業は、接続率が100%となれば使用料で維持管理費が賄えるか？



農業集落排水事業へ未接続の戸数、人口

項目		令和6年度
現在同意戸数、人口 ①	戸数	1,416戸
	人口	4,213人
接続戸数、人口 ② (休止分を除く)	戸数	1,107戸
	人口	3,358人
未接続戸数、人口 ③=①-②	戸数	309戸
	人口	855人



未接続戸数、人口に係る使用料

1 基本料

(基本料単価) × (未接続戸数) × 12月

2,170円 × 309戸 × 12月 = 8,046,360円

2 人員割料

(人員割料単価) × (未接続人口) × 12月

440円 × 855人 × 12月 = 4,514,400円

3 使用料

(基本料) + (人員割料)

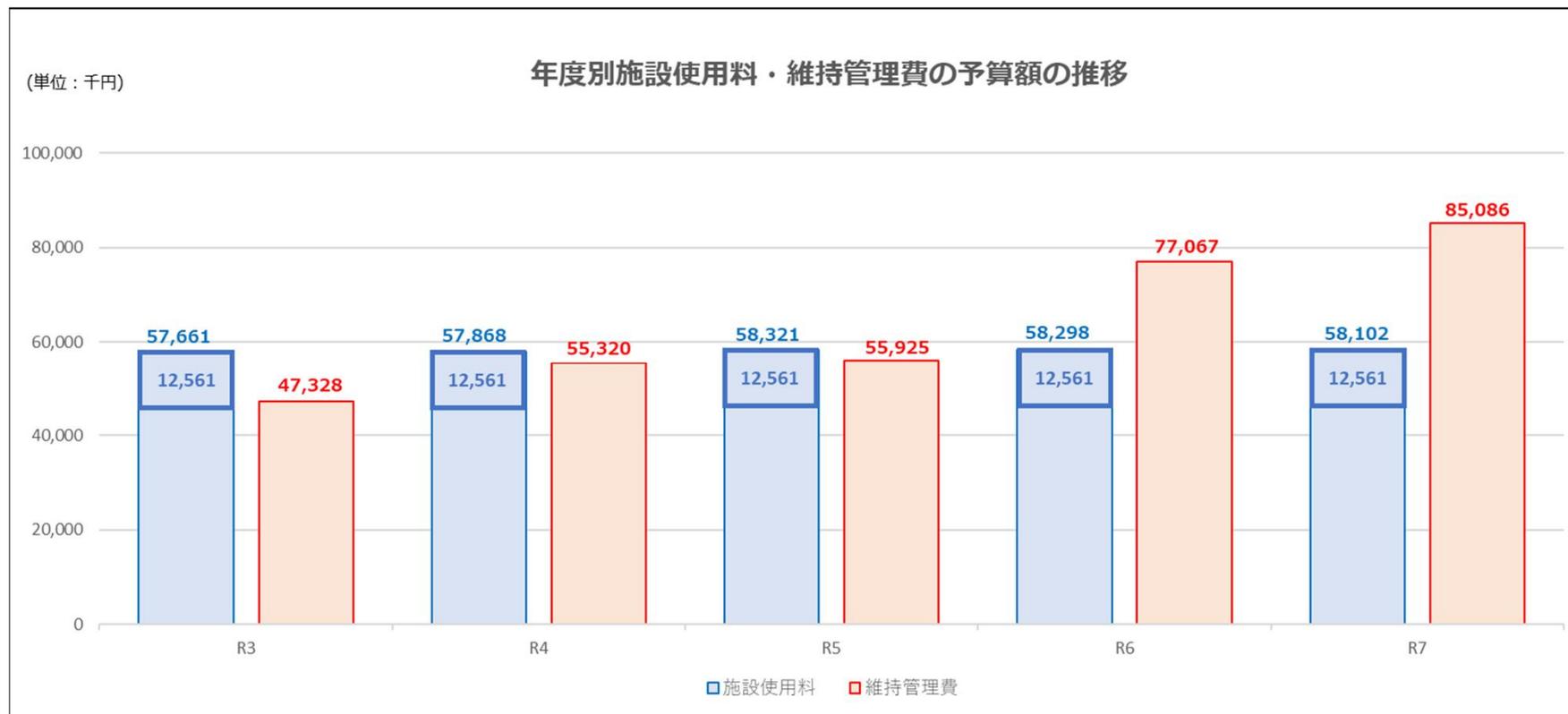
8,046,360円 + 4,514,400円 = 12,560,760円

≒ 12,561千円 (税込み)

●シミュレーション③



年度別施設使用料・維持管理費の予算額の推移で確認



結果

接続率が100%となれば使用料は12,561千円の増となるが、維持管理費は賄えない。

●今後の事業の方向性について



シミュレーション結果まとめ

- ・ 接続率が100%になったとしても、
施設使用料収入だけで維持管理費は賄えない。

方向性

- ・ 企業会計は「独立採算」や、利用者の「受益者負担」が原則である。
この状況が継続した場合、将来、事業を継続していくことが困難となる場合も想定されるため、経営戦略に基づき、事業のあり方について幅広く検討していく。